



1日	月	自転車安全教室(6校時)	放課後チャレンジ学習	月654321	
2日	火	中央・専門各委員会			
3日	水		放課後チャレンジ学習	水12345	
4日	木			金の時間割+水5	
5日	金		放課後チャレンジ学習	木の時間割	
6日	土				
7日	日				
8日	月		放課後チャレンジ学習		
9日	火				
10日	水	期末懇談会 1日目 短縮時間割開始		水1234	
11日	木	期末懇談会 2日目		木1234	
12日	金	期末懇談会 3日目 生徒総会(4時間目)		木56+金1+学	
13日	土				
14日	日				
15日	祝	海の日			
16日	火	期末懇談会 4日目		金345+水5	
17日	水	期末懇談会 5日目		水1234	
18日	木			木3456	
19日	金	終業式、学年集会、大掃除、学活			
20日	土				
21日	日				
22日	月	チャレンジ学習 9:00~12:00	夏季トライ学習 13:00~15:00	特別支援学級合同合宿	
23日	火		夏季トライ学習 13:00~16:00		
24日	水				
25日	木				
26日	金				
27日	土				
28日	日				
29日	月		夏季トライ学習 13:00~16:00		
30日	火		夏季トライ学習 13:00~15:00		
31日	水				

初めてのテスト、どうでしたか？

はじめての定期テストが先週終了しました。さて出来栄はいかがでしたか？

今週で、ほぼ全てのテストが返ってきたと思います。全員のテストの返却が終わってから、国社数理英の5教科について、全体の順位などをまとめた結果を懇談会までに渡す予定です。

①自分がどれくらいの学力の位置にいるのか確認しよう。

学校での順位なんて、小学校のころはあまり意識していなかったと思いますが、中学校では順位票を個人に渡します。なぜかという、中学校卒業後の進路を考えるととても大事な資料となるからです。昨年度までのデータから見ると、中学校卒業後に公立高校に進学できるのは全体の60%前後です。もちろん公立高校だけでなく私立高校など、たくさんの進路が卒業後には広がっています。どんな進学先があるのか今から意識しながら自分の将来を考えてみてくださいね。そして自分の目標にあわせて勉強も取り組んでいけるようにしてください。

②復習をしっかりしましょう

一度のテストの結果で「やばい~できてない~！」ってショックを受けて落ち込んでいても仕方ありません。そう、まだスタートをきったばかりなのですから！

大切なのはできていなかったところをしっかり復習をすること、次に同じ問題が出た場合に確実にわかるようにしておくことです。そうすることで実力アップ間違いなしですよ！！

期末懇談会のお知らせ

日程 7月10日(水)~12日(金)、16日(火)、17日(水)

時間 14:00~17:00

場所 各クラス教室

※ 日程や時間は、部活動等との関係でクラスによって異なります。担任との時間調整をお願いいたします。



裏面に体育大会の感想があります。

体育大会を終えての作文紹介 -前編-

国語の授業で作文の書き方を藤田先生に教わりました。そこで学んだテクニックを生かして、それぞれの体育大会での出来事を書きました。何名かですが紹介します。

『体育大会』一年三組十五番 重松虎太郎

「オンユアマーク、セッツ、パン」の音とともにぼくのできょうぎが始まった。ぼくはアンカーだ。まっている時間が長く、心そうのバクバクがとまらない。となりの子から教えてもらった、手に人という文字をかいてきんちょうをほくしていた。なぜ手に人という文字をかいているかということ、人という文字をかいて食べればきんちょうがほくれるそうだ。だからぼくはそれを信じてやってみた。だがぼくのバクバクはとまらない。いよいよぼくの出番がきた。心そうがはれつしそうでやばかった。バトンがきた、ぼくは走った、走ったしゅんかんに心そうのバクバクはとまった。その同じにきん肉つうもなくなった。やっと二百メートル走りおえた。きになる順位は二位だった。せきにもどるとみんなから、「おつかれ」「きん肉つうだいじょうぶやった？」と聞かれぼくは、「うん、だいじょうぶ。」とこたえた。

その後の閉会式、そうごうゆうしょうクラスの発表。「第一位は、一組です。」ざんねんながらぼくたちは第二位だった。でもゆうしゅうこうしんしょうの発表があったぼくたちは、（これはかてる）と思っていた。そして、「第一位、三組です。」の発表と同時に大よろこびしました。ぼくはこの時、（よっしゃー。Yes Yes Yes!!）と心の中でさげんでいた。表彰状を二個もらった。

『全力を出し切って…』一年一組二十七番 福田晃志朗

ぼくにとって、初めての中学校の体育大会。その中で一番心に残った事について紹介します。

「ドキッドキッ」ぼくは、とても緊張していた。ぼくは、そんなに足が速いわけではなく小学校の体育大会でも、ほとんど四位。「リレーだけには出たくない。」と思っていた。でもジャンケンに負け、混合リレーの選手になり気分はだだ下がり。しかもアンカーになってさらに気分が下がり、みんなの力になれるか心配でした。

でも、時間はどんどん進み自分たちの番が来てしまった。「パンッ」とピストルが鳴り気付けばバトンを持った人がすぐそこにいた。この時は「何位でもいい。とにかく全力で。」そう決意し、バトンを受け取った。無が夢中で走りいつのまにかゴールしていた。一位になれなかったが二位になることができとってもよかった。すると左足首がいたくて、知らないうちにぐねってしまっていた。自分でも気付かず、この時こう思った。「本当に全力を出し切れたんだな。」

この事を忘れず何でも全力で取り組もうと思いました。

『全力の行進』一年二組九番 倉村美桜

私の印象にのこった出来事は行進です。なぜ行進なのかと言うと、行進は体育の授業で厳しく教えてもらっていたからです。授業の時から“声が出てない”“歩くのが速い”などの言葉をたくさんもらっていました。でも体育大会では行進にも、賞が出るのでクラスみんな大きな声をだしたりしました。練習で行進をした時、「3組が一番上手」と先生が言っていました。私はそれがくやしくて、いっぱい声を出しました。すると本番クラスみんなが大きな声を出し、足がしっかり上がったたり、うでもしっかり振っていました。結果は2位でしたが、みんなが声を大きく出したりしていて、よかったです。これからも何事にも全力で物事に取りくもうと思いました！

『1000mにかけた思い』一年五組三十七番 渡辺了介

ぼくの、中学生になって初めての体育大会はきんちょうと共に幕を開けた。なぜ、きんちょうしていたかというとぼくは1000メートル走に出るのだが、相手は、陸上部やバスケ部の子たち、「とうていぼくなんて勝てるのかな～」と思っていたからだ。しかし、ぼくのこんなネガティブな気持ちは、本番が近づくたびに消えていきどちらかということ、「勝てなくても、必ず1000メートルを走りきる。」という気持ちに変わっていったのだ。

そして本番だ。何百人もの歓声が鳴りひびく中、「オンユアマーク、セッツ」『パン』の音で、ついにはじまった。最初はなんとか先頭の集団についていったが、どんどんひきはなされていく。でも、ぼくは、あきらめない勝ち負けにはこだわらないから走りきってやるという意味になった。そして、「ゴール」。結果は、4位だったが、しっかり走りきることができともうれしかった。

それで、このゴールした時の気持ちを忘れずこれからも、どんなにつらいことがあろうとも、必ずやりきる根性のある人間になっていきたい！！

『あっかんの大玉ころがし』一年四組三番 伊藤花凜

「大玉ころがしでまきかえすぞ」それは学年種目で4位だった私たちに福田先生が言ってくれた言葉です。

体育大会の学年種目「平成から令和へのかけ橋」で私たちは4位でした。くやしかった気持ちと同時にこうかいも出てきました。そして自分たちのイスのある所にもどると先生が「大玉ころがしでまきかえすぞ」といってくれて次の大玉ころがしをがんばろうと思いました。そして大玉ころがしが私たちのばんになった時たかはしさんがすごいやる気を出していて自分も「がんばらないと」と思いました。「よーいドン」で始まった大玉ころがし。4組の練習での順位は4位。しかし4組は、みんながおどろくぐらいあっかんのスピードで1位をとりました。すっごくうれしくて、友だちとよろこびあいました。でもたかはしさんが子供みだいによるこんでいてよかったです。

ぜんぶあわせた順位は4位だったけど、すごく楽しかったので良かったです。